

所属 総合文化コース	職名 准教授	氏名 杉山 精一	大学院における研究指導担当資格の有無 (無)
I 教育活動			
教育実践上の主な業績		年月日	概 要
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)			
①講義理解の工夫	2004年4月～	<p>①学生の意見をできるだけ吸い上げ、互いに問題を共有できることを基本に、講義理解に向けた工夫を行っている。具体的には、以下の通りである。</p> <p>(1)学生による発表・ディスカッションなど。</p> <p>(2)内容をフィードバックし、情報の共有をしながら問題となるテーマへの理解を深める。</p> <p>(3)人生の先輩をゲストスピーカーとして招き、講義に関わるテーマについて、学生と意見交換を行う。そのやりとりを通して、学生に講義内容に関する「学び」の意味と「自分」とのつながりについて考えさせる。</p> <p>(4)グループワーク。グループ別に意見交換・事前学習などを行い、発表する。</p> <p>(5)学生の学習成果の交流を行っている。</p> <p>卒業論文のポスター発表、「教育原理」における自治体の教育政策のポスター発表など。</p> <p>(6)書庫講義</p> <p>普段は入ることのできない大学図書館の書庫に入り、本を借りてシェアする。</p>	
②プロデュース講義	2000年4月～	<p>①学校現場で勤務する教員や指導主事を招き、学生と意見交換を行う。「生徒指導・クラス運営・英語教育・特別支援教育」などのテーマに加え、「教師生活1年目・10年目の先生から学校現場の生の声を聞き、教師・学校理解を深める。(教職概論)</p> <p>②日本および国際的な社会貢献活動を行っている人をゲストスピーカーとして招いている。</p> <p>小川真吾さん (テラ・ルネッサンス理事長・ウガンダでの元子ども兵支援)</p> <p>今井紀明さん (D × P代表・通信制高校生の支援)</p> <p>高東菜穂子さん (フリーランス・イラク支援)</p> <p>柳澤協二さん (元内閣官房副長官補・安全保障)</p> <p>畝伊智朗さん (JICA研究所長)</p>	
③モニター制度の実施 ～講義改善の取り組み～	2009年4月	<p>① 自分の行う講義をいかに改善するかの試みである。</p> <p>② 学生から希望者を募りモニターを募集する。モニターとなる学生は、一度受講し、単位認定を行っている学生である。一度受講した講義を、もう一度受講しながら、「対等の立場」で杉山に、講義改善に向けた「提言」を積極的に行う。モニターとなった学生には、謝金を払う。(教育原理)</p>	

2 作成した教科書、教材、参考書		
①推薦図書（ブックリスト）の作成	2000年4月～	①本学所蔵の本を中心にジャンルごとにブックリストを作成し、推奨している。
②教材の作成	〃	②講義に関わる情報提供・講義内容に関する学生からのコメントなど、資料を作成し、配布している。それらのプリントは、「⑤テキスト作成」で述べているように、学生にフィードバックしている。
③教材ビデオの作成	〃	③講義内容に関わる視聴覚ビデオを編集し、問題提起を行う。
⑤テキスト・ファイルの作成 （学習内容の最終確認）	〃	⑤配付した資料、学生の意見やコメント、重要事項の整理などをまとめ、一冊のテキストファイルを作成する。
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
①「スクールサポーター報告会」での講演	2004年4月～	①平成19年2月17日（神戸市総合教育センター） 学校現場でサポート活動を行う学生に向けて、指導助言者として講演を行った。
②「教員採用候補者選考試験：説明会」（神戸市）における講演	〃	②「神戸市・教員採用候補者選考試験」（毎年5月：ユニティ）において、教員採用試験を志す学生に向け、助言者として毎年講演を行っている。
4 その他教育活動上特記すべき事項		
①「スクールサポーター」のプロデュース・参加学生への指導 ②「学校インターンシップ」のプロデュース・参加学生への指導 ③ 神戸市立須磨翔風高校での出前授業（7時間） ④ 「教員採用試験」対策講座の開催・助言 ⑤ 「教職勉強会」の指導・助言	2004年4月～	①教職希望の学生が、小・中学校でサポート活動を行う指導・支援を行っている。 ②高校教員を志望する学生が、高校現場で体験活動を行う指導・支援を行っている。 ③高大連携事業のとりくみのひとつである。単発的な出前授業ではなく、高校と連携して継続的な出前授業を行っている。担当科目は、「学内教育実習プログラム」である。 ④キャリア・サポートセンターと連携し、「教員採用試験対策講座」の企画および講座を定期的に行っている。 ⑤教職希望の学生に向けて、教職について理解を深める「教職勉強会」をサポートし、指導・助言を行っている。

⑥社会見学活動の実施		⑩さまざまな社会現場を学生とともに訪問し、直接生の声を聞きながら教育について理解を深める活動を行っている。(訪問例) ・神戸市垂水下水処理場訪問／加古川食肉センターにおける「と畜」現場訪問研修 ・兵庫県動物愛護センター訪問／大阪府交野女子学院(矯正教育施設)訪問 ・裁判傍聴(神戸地裁・兵庫弁護士会主催)／奈良少年院訪問／加古川学園・播磨学園訪問 ・兵庫県立点字図書館			
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・共 著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号 数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
『教育的思考の作法－教職概論』第11章「教育的思考の実践例～教師志望Kくんへのメッセージ」	共著	2008年3月20日	福村出版	(編者)小笠原道雄、伴野昌弘、渡邊満 (共著者)渡邊隆信、野平慎二、白銀夏樹、小川哲哉、岡谷英明、山名淳、寺岡聖豪、上地完治、関谷融、丸山恭司、堺正之、桜井佳樹	138～148
(翻訳) ヴォルフガング・ブレツィンカ著 小笠原道雄・坂越正樹訳 『教育目標・教育手段・教育成果』 第七章 「目的－手段図式から見た教育」	共訳	2009年7月1日	玉川大学出版部	(著者)ヴォルフガング・ブレツィンカ (監訳)小笠原道雄、坂越正樹 (訳者)小林万里子、丸山恭司、シーヴァー・真由美、松原岳行、白銀夏樹、渡邊隆信、上地完治、岡谷英明、丸橋静香	245 ～ 272
『教育的思考の作法④ 道徳教育の可能性－徳は教えられるか－』 第4章「ヘルバルトの道徳教育論 －「検索」から「思索」へ－」	共著	2012年3月10日	福村出版	(著者) 小笠原道雄、田代尚弘、伴野昌弘、森川直、白銀夏樹、丸山泰司、渡邊満、岡谷英明、野平慎二、小川哲哉、松原岳行、櫻井佳樹、堺正之、大関達也、小林万里子、上地完治、運天弘和、早田恵美、谷田増幸、齋藤照夫、上畑良信、押谷由夫	60 ～ 69
『教育的思考の作法⑤ 教育哲学の課題「教育の知とは何か」』	共著	2015年6月5日	福村出版	(著者) 小笠原道雄、森川直ほか	
論文					

「フィヒテ・クラブとヘルバルト(1) ～1790年代後半のイエナの若者たち～」	単著	2005年9月	神戸市外国語大学研究会 『神戸外大論叢』第56巻 第4号	杉山精一	63～77
「自由人協会」とヘルバルト(2) ～創設と入会～	単著	2008年9月	神戸市外国語大学研究会 『神戸外大論叢』第59巻 第3号	杉山精一	57～71
「自由人協会」とヘルバルト(3) ～1795年9月までの活動を中心に～	単著	2009年11月	神戸市外国語大学研究会 『神戸外大論叢』第60巻 第6号	杉山精一	47～67
「自由人協会」とヘルバルト(3) ～1795年9月までの活動を中心に～	単著	2010年	神戸市外国語大学研究会 『神戸外大論叢』第61 第1号	杉山精一	45-58

Ⅲ 学会等および社会における主な活動

社会における活動

兵庫県立湊川高校・学校評議員	2006年4月～
摩耶兵庫高校・昼間部検討委員会	2009年
兵庫県立宝塚東高校・学校評議員	2014年4月～
神戸市教育委員会との連携 神戸市立須磨翔風高校 「学内教育実習プログラム」(授業)を担当	2009年～
神戸市立葺合高校 SGH 教員研修を担当	2014年～

所属学会

日本教育学会、教育哲学会、日本ペスタロッター・フレーベル学会、教師教育学会、中国四国教育学会